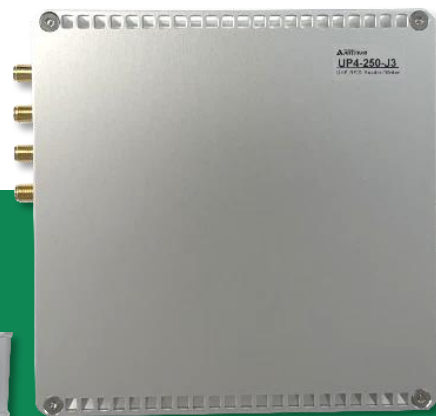


250mW アンテナ外付け UHF帯リーダ・ライター

UP4-250-J3 UP8-250-J3 UP16-250-J3

- 無線局免許不要な特定小電力機器(250mW)
- 中距離・複数枚読み取りに最適
- アンテナ外付け4 / 8 / 16 ポートが選択できます
- ホストインターフェース
→USB / RS-232C / LAN / 無線LAN※1
- 用途に応じて幅広いアンテナから選択できます



上の写真は:UP4-250-J3(M/L)

■製品仕様

項目	仕様
機器種別	CBファミリ
対応タグ通信規格	ISO18000-63/ EPC C1G2
周波数	916.8 ~ 923.4 MHz (19チャンネル)
RF送信出力	250mW(5~24dBm 調整可能)
アンテナ接続端子	外付け ポート数:4/8/16 (コネクタ:SMA jack)
上位インターフェース	USB2.0(Type-C, FTDI製IC採用)※1 RS-232C(D-sub 9pin) / LAN(RJ-45) / 無線LAN※2
インジケータ	LED:赤、黄色、緑 (上位制御可)
電源	付属ACアダプタ(DC+5V)
外形寸法 (突起物除く)	UP4-250-J3(M/L)、UP8-250-J3(M/L):130 × 130 × 30mm UP16-250-J2(M/L):180 × 130 × 40mm
質量	UP4-250-J3(M/L) :400g UP8-250-J3(M/L) :420g UP16-250-J3(M/L) :650g
対応規格	ARIB STD-T107,RoHS2
無線局種別	特定小電力
標準提供形態	受注生産 1式~

※1 Windows以外のOSをご使用の場合はFTDI社のホームページからドライバをダウンロードしてください。

※2 無線LANはオプションになります

■外観



■製品一覧

製品名	アンテナポート数	インターフェース	開発者支援キット 型番
UP4-250-J3(M/L)※3	4	USB,RS-232C,LAN	UP4-250-J2(M/L)-DK
UP8-250-J3(M/L)※3	8	USB,RS-232C,LAN	UP8-250-J2(M/L)-DK
UP16-250-J3(M/L)※3	16	USB,RS-232C,LAN	UP16-250-J2(M/L)-DK

※3 無線LAN版の製品名は UPx-250-J3(M/WL)になります。

■開発者支援キット(DK)

開発者支援キット(DK)は、RFIDの機能検証およびソフトウェア開発をサポートするキットです。本体に加え、サンプルアプリケーション、Windows向けAPI、プロトコル(コマンド)仕様書、サンプルソースを同梱しています。

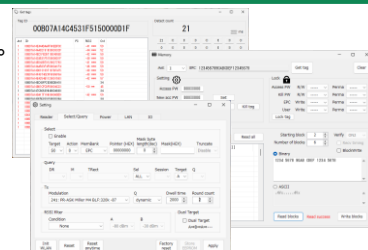
■評価アプリケーション「ICTagWriter」

UHFタグの読み取りおよびメモリの読み書き、リーダ・ライタの各種設定・機能確認など、リーダ・ライタのほぼすべての機能をこのアプリケーションで評価できます。

■Windows向けAPI

Microsoft Visual Studio(C++ / C#.NET / VB.NET)に対応しています。APIを使用することで、プロトコル仕様書のコマンド定義を意識せずにリーダ・ライタを制御でき、アプリケーションを容易に開発できます。

その他「開発者支援キット(DK)」の詳細は「[開発情報\(開発者支援キット\[DK\]付属CD-ROM\)の概要](#)」をご参照ください。



RFID Solution
株式会社アートファイネックス



東京 〒101-0047 千代田区内神田1丁目7-4 晃永ビル5階 TEL (03)5244-5280
本社 〒916-0037 福井県鯖江市上河端町6丁目1番地の33 TEL (0778)54-8085

製品に関するお問合せ・ご相談は<東京>営業部までご連絡ください。

製品の仕様、デザイン、外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

RFIDに関する情報をお届けします
URL <https://artfinex.co.jp/> E-mail info@artfinex.co.jp

仕様・外観・製品構成は、改良のため予告なく変更する場合があります。最新の情報につきましては、弊社のRFIDサービス・製品情報ウェブサイトでご確認ください。
本製品は電波を使用したRFID機器の読み取り・書き込み装置です。そのため使用する用途・場所によっては、医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品を運用する際は、総務省(社)日本自動認識システム協会及び関係団体の定める運用ガイドラインをご確認の上、適切にお取扱ください。「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」総務省(報道資料):平成27年8月 [Rev:101]